



もぎたて通信

令和7年10月2日
長崎市立茂木小学校
発行 校長 松尾伸章

ホームページ www.nagasaki-city.ed.jp/mogi-e/

10月です。学校の1年間のちょうど中間地点です。これからは、それぞれの学年の後半戦となります。風もようやく涼しくなり、秋を感じるようになってきました。これから秋本番です。これまでできるようになったこと、まだ不十分なところ、必ずあるものです。それをみんなで確かめながら、「実りの秋」となるよう、さらに高みを目指してチャレンジさせていきたいと思えます。

小体会にチャレンジ

9月から6年生の小体会への取組がスタートしました。本番での優勝を目指して、子供たちも、先生方も本気になって練習に取り組んでいて頼もしく思います。

小体会は、今年度から種目や実施要領もかわり、長崎市として大きな改革にチャレンジしています。小体会の目的は、6年生の子供たちが、運動に親しむとともに体力の向上を図ること。仲間と協力しながら、健やかな心と体を育成すること。課題解決に向けて粘り強く取り組む精神を養うこと。規則を守り、よき社会人としての資質を養うこと。生涯スポーツの基礎を培うことにあります。出場種目は、「ターゲットボッチャ」「球入れ」「プレルボール」「フラッグフットボール」「フットホッケー」の5種目の中から選ぶことができます。茂木小の子供たちは、「球入れ」「プレルボール」「フラッグフットボール」の3種目に分かれて出場することにしました。

新しい競技がほとんどで、手探りのところはいろいろありますが、子供たちは一生懸命練習に取り組んでいます。球入れチームは、練習初日から20個のパフォーマンスも記録しました。プレルボールチームは、仲間と楽しみながらルールを覚えていっている様子が何とも良い雰囲気でした。フラッグフットボールチームは、暑い運動場でも先生方の厳しいディフェンスを突破していく子供たちの一生懸命な姿がありました。どのチームもどんどん上手になっていっています。

大会は10月15日(水)です。しかし最も大切なことは、小体会当日よりも、この約1か月の取り組み方にあります。小体会の目的をしっかりとふまえて、茂木小の6年生みんながチャレンジし、自分をよりレベルアップできるよう頑張っています。

チャレンジ検定

2学期から、子供たちの基礎学力の向上を目指して、主体的に学びに向かう子供たちを育てるために「チャレンジ検定」を始めました。月曜日の朝のチャレンジタイムの時間に、クロムブックでQubenaを活用して、校長がそれぞれの学年に問題を配信します。子供たちには、事前に主題範囲を知らせています。子供たちがパーフェクトを目指して、授業の隙間や家庭学習などでこの検定に向けて主体的に練習(学習)してくれるようになってくれればと考えています。

ねらいは、上にも書いたように、この検定の結果だけでなく、その取り組み方にあります。主体的に学びに向かう子供たちに育ってほしいと思います。

9月22日(月)に、第1回目の国語の検定を行いました。よく頑張っており、ノーマスのパーフェクト賞をもらった子は、全学年で18%の26名でした。第2回目は算数の検定を行いました。さらに成績が向上し、全学年で37%の51名の子供たちがパーフェクト賞を手に入れました。惜しくもパーフェクト賞を逃した子もいます。それでも、頑張ったことに意義があります。悔しい思いを感じて次に繋げることができれば大丈夫です。もしかすると、その方がより大きな成長を得られるのかもしれない。

始業式の日、子供たちへ「目標に向かってチャレンジ！」しようという話をしました。人は、失敗を恐れず、失敗しても諦めずに、何度もチャレンジをしていく中で大きく成長していくものです。2学期は、たくさんのことにチャレンジしてほしいと思います。子供たちの今後の頑張りが楽しみです。

10月行事予定

- 1日(水) 安全の日 4年社会科見学
- 2日(木) 小体会練習
- 3日(金) 2年町探検
- ※4日(土)～13日(月) 小中科学教育展(科学館)
- 7日(火) 小体会選手を励ます会 長崎くんち初日のため午後下校(雨天延期)
- 9日(木) 3年研究授業 小体会練習 トムソーヤーズ読み聞かせ1・2年
- ※11日(土) トムソーヤーズ料理3・4年(9:30～12:00 茂木支所)
- 13日(月) <スポーツの日>
- 14日(火) 児童集会(図書委員会) 小体会練習
- 15日(水) 全校弁当の日 6年長崎市小学校体育大会(県立総合体育館、橘小学校)
- 16日(木) クラブ活動
- 17日(金) スクールカウンセラー来校日
- ※18日(土) トムソーヤーズ料理5・6年(9:30～12:00 茂木支所)
- ※18日(土) 茂木くんち 14:00 御神幸行列(全学年30名ほど)
15:00 5・6年ソーラン節踊り奉納
- 19日(日) (家庭の日)
- 20日(月) チャレンジ検定(国語)
- 21日(火) 読書の日 児童集会(小体会結果報告)
- 22日(水) もぎの木タイム
- 23日(木) 6年研究授業 トムソーヤーズ読み聞かせ1・2年
- 24日(金) スクールカウンセラー来校日
- 29日(月) チャレンジ検定(算数) 3年わかな荘との交流
- 28日(火) もぎトーク
- 29日(水) 先生方による読み語り(読書タイム)

若菜川を眺めて

2学期に入り、子供たちの挨拶が一段とレベルアップしてきました。代表委員会でも挨拶について話し合い、自分たちで挨拶をさらにレベルアップしようと頑張っています。私も負けずに、できる限り正しい姿勢で礼をつけて子供たちに挨拶するよう心がけています。朝から子供たちの挨拶にたくさん元気をもらっています。

しかし、中には挨拶をするときなかなか目が合わせられない子もいます。何となく恥ずかしいと感じている子もいるのですが、少し心配になります。

昔から「目を見て話を聞きなさい。」と、私たちは、子供を指導してきました。その理由はよく分かっていませんでしたが、どこか本能的に「大切なこと」だと感じていたように思います。

その理由は、ヒトの進化の過程にありました。

以前は、ヒトは言葉を話すようになって、霊長類から独自の進化をしてきたのではないかと考えられてきました。ところが、ヒトが言葉を獲得したのは、ヒトとして進化したずっとあとのことです。言葉を獲得するまでは、「対面コミュニケーション」という方法で、顔と顔(目と目)を合わせながらコミュニケーションを図っていました。やがて、コミュニティが大きくなり、より多くの他者とより多くの情報を共有するための言葉が生まれたのです。そして、いつしか言葉は人のコミュニケーションの中心となっていきます。

しかし、コミュニケーションの本質は『対面』です。「声色」というように、言葉には音だけではない複雑な要素があり、言葉だけでは伝わらない心根までも伝えることができます。今一度、「目を見て話を聞く」「顔と顔を合わせて話をする(挨拶をする)」ことを大切にしたいと思います。